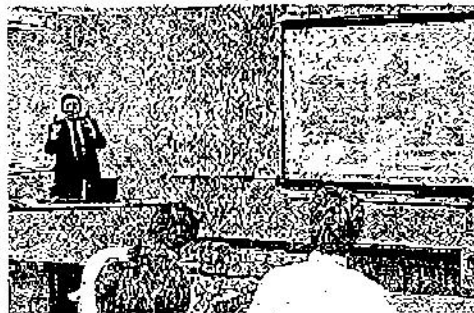


# 特許技術で経営戦略

## 福井で知的財産セミナー



岩盤掘削の特許を生かした経営について語る神島昭男社長(左)＝福井市の県工業技術センターで

土木業界のアイデアマンとして注目されている神島組(兵庫県西宮市)の社長、神島昭男(あき)さんを招いた知的財産セミナー(特許庁など主催)が4日、福井市の県工業技術センターで開かれた。県内のモノづくり企業の総務

でも土木業の仕事は減っているが、「公共工事(の受注システム)はただ安いだけでなく、「いい技術なら採用しますよ」に変わってきた。役所に行くことウチの工法に興味を持ってくれる」と語った。

神島組は従業員十九人の小所帯ながら、九年前から独自の岩盤掘削技術を研究し、二十四件もの特許を取得。岩盤にヒストン先端をめり込ませ、無振動・無騒音で岩を四分割する工法は「ひょうごものつくり大賞」を受賞した。

(福嶋隆彦)